

今週のビルマのニュース 2011年9月30日 (1131号)
ODA2件(約9億円) 北部で激しい戦闘 カレン難民が日本に到着

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ ビルマ外相は27日、国連総会で演説し「近い将来、適切な時期に受刑者を釈放する」などと述べて民主化改革の前進を強調し、経済制裁の解除を求めた。また22日にニューヨーク、29日にはワシントンでキャンベル米 국무次官補とミッチェル米特別代表・政策調整官と会談(28日 AP、29日 AFP ほか)。国連事務総長は27日、ビルマに関するフレンズ会合を主催。終了後、政治囚の解放を改めて呼びかけた(報道発表)。
- ・ シャン州北部で23日から国軍がカチン独立軍(KIA)に対して激しい攻撃を加え、数千人の周辺住民が避難。中国が難民流入を恐れて国境を封鎖したとの情報も。攻撃があったのは、中国向けに建設中の石油パイプラインのルートに近い地域(28日イラワディ)。在タイ・カチン女性協会(KWAT)によれば、国軍とKIAの戦闘が起きている地域で国軍兵士によるカチン民族女性の強かん事件が急増(26日 IRIN ほか)。
- ・ テインセイン大統領は30日、イラワディ川上流で進むミッソングダム建設を一時停止する提案を議会に提出した。同ダムは超大型で、政府が中国国営企業などと共同で開発を進めていたが、周辺環境や社会に深刻な悪影響を及ぼす危険があることなどから建設に反対する声が国内でも高まっていた。(30日 AP ほか)
- ・ 2007年に僧侶や市民による大規模な反軍政抗議行動が武力弾圧された「サフラン革命」の4周年を記念し、26日にラングーン(ヤンゴン)で行進や集会があった。シュエダゴン・パゴダを出発して市中心部に向かった約200人の行進は途中で警察に止められ解散した。(26日 AFP)
- ・ 「第三国定住制度」により、タイの難民キャンプから日本が受け入れるカレン民族難民4家族18人が29日、日本に到着した。今後半年間、定住支援研修を受ける(29日時事ほか)。また関係筋によれば、日本政府はレアアースなどの鉱物資源をビルマと共同開発する方針(26日共同ほか)。

【政府開発援助(ODA)】

- ・ 日本政府はビルマへの無償資金協力2件に関する交換公文に署名(28日)：「中央乾燥地村落給水計画」のため6億2,900万円限度、「人材育成奨学計画」のため2億6,000万円限度。

【注目アイテム】

- ・ 国際危機グループ(ICG)が新報告書「Major Reform Underway(大規模改革が進行中)」を発表(22日)。ウォールストリート・ジャーナル紙社説やエコノミスト誌コラム等で「現実を反映していない」との批判も。
<http://www.crisisgroup.org/en/regions/asia/south-east-asia/burma-myanmar.aspx>
- ・ フォーブス・アジア誌2011年10月10日号にテザー氏についての特集(表紙も同氏)。記事はウェブページ上にも。<http://www.forbes.com/forbesglobal/>
- ・ 国民民主連盟(NLD)が結成23周年記念に声明(27日)。<http://www.nldburma.org/media-press-release.html>
- ・ ベネディクト・ロジャーズ氏インタビュー「声なき人たちの声になりたい」(ビルマ情報ネットワーク)。
<http://www.burmainfo.org/article/article.php?mode=2&articleid=534>

【イベント情報】([] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [アムネスティひろしまグループ] ドキュメンタリー『ピュア 希望の鐘』上映・ココラット氏講演(広島市 アステールプラザ中会議室、10月1日13時半から15時半頃)
- ・ [アムネスティ水戸グループ] アムネスティ・インターナショナル創立50周年記念「悲しみと涙の川エヤーワディー」上映とティッ・ター監督夫妻のトーク(ハングルアカデミー水戸本校、10月16日13時半～)
- ・ [アムネスティ・インターナショナル日本] 『This Prison Where I Live わたしが住む、この監獄』上映&元ビルマ政治囚による講演(日本大学法学部三崎町キャンパス3号館350教室、11月6日14時～17時半)

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>